

科学研究費助成事業（科研費） 研究種目の目的・内容

令和4年4月1日現在

研究種目等	研究種目の目的・内容	応募開始時期	補助金・基金の別	役割分担	
科学研究費					
Grants-in-Aid for Scientific Research					
特別推進研究 Grant-in-Aid for Specially Promoted Research	新しい学術を切り拓く真に優れた独自性のある研究であって、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で行う研究（3～5年間（真に必要な場合は最長7年間）。2億円以上5億円まで（真に必要な場合は5億円を超える応募も可能））	7月上旬	補助金	振	
新学術領域研究（研究領域提案型） Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	多様な研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる（5年間 1領域単年度当たり 1,000万円～3億円程度を原則とする）【令和2(2020)年度公募以降、継続研究領域の公募研究のみ公募】	8月下旬	補助金	文・振	
学術変革領域研究 Grant-in-Aid for Transformative Research Areas	(A) 多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究（5年間 1研究領域単年度当たり 5,000万円以上3億円まで（真に必要な場合は3億円を超える応募も可能）） (B) 次の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループ（3～4グループ程度）が提案する研究領域において、より挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域の創成を目指し、将来の学術変革領域研究（A）への展開などが期待される研究（3年間 1研究領域単年度当たり 5,000万円以下）	8月下旬	補助金	文・振	
基盤研究（S） Grant-in-Aid for Scientific Research(S)	一人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究 原則 5年間 5,000万円以上 2億円以下	(S)7月上旬	(S) 補助金	振	
基盤研究（A・B・C） Grant-in-Aid for Scientific Research(A)/(B)/(C)	一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (A) 3～5年間 2,000万円以上 5,000万円以下 (B) 3～5年間 500万円以上 2,000万円以下 (C) 3～5年間 500万円以下	(A)7月上旬 (B)8月上旬 (C)8月上旬	(A) 補助金 (B) 基金 (C) 基金		
挑戦的研究（開拓・萌芽） Grant-in-Aid for Challenging Research (Pioneering)/(Exploratory)	一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究なお、（萌芽）については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究も対象とする (開拓) 3～6年間 500万円以上 2,000万円以下 (萌芽) 2～3年間 500万円以下	8月上旬	基金		
若手研究 Grant-in-Aid for Early-Career Scientists	博士の学位取得後8年未満の研究者（注1）が一人で行う研究 2～5年間 500万円以下	8月上旬	基金	振	
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が一人で行う研究 1～2年間 単年度当たり150万円以下	3月上旬	基金	振	
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	教育・研究機関や企業等に所属する者で、学術の振興に寄与する研究を行っている者が一人で行う研究 1年間 10万円以上 100万円以下	8月上旬	補助金	振	
特別研究促進費 Grant-in-Aid for Special Purposes	緊急かつ重要な研究課題の助成	—	基金	文・振	
研究成果公開促進費					
Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Results					
研究成果公开发表 Publication of Research Results	研究成果公开发表（B） 日本国内で主催するシンポジウム・学術講演会等で、一般社会人等の関心が高いと思われる分野の研究動向・研究内容を、わかりやすく普及啓発しようとするものを対象とした助成。 研究成果公开发表（C） 日本国内で主催する国際シンポジウム・国際会議等で、主催にかかる運営体制が確保されているものを対象とした助成。	8月上旬	補助金	振	
国際情報発信強化 Enhancement of International Dissemination of Information	学協会等の学術団体等が学術の国際交流に資するため、更なる国際情報発信の強化を行う取組への助成				振
学術図書 Scientific Literature	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成				振
データベース Databases	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、公開利用を目的とするものの助成			振	
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	日本学術振興会特別研究員（外国人特別研究員を含む）が行う研究の助成（3年以内（特別研究員-CPD（国際競争力強化研究員）は5年以内））	1月中旬		振	
国際共同研究加速基金					
Fund for the Promotion of Joint International Research					
国際共同研究強化（A） Fostering Joint International Research (A)	科研費に採択された研究者が半年から1年程度海外の大学や研究機関で行う国際共同研究。基課題の研究計画を格段に発展させるとともに、国際的に活躍できる、独立した研究者の養成にも資することを旨とする（1,200万円以下）【平成30(2018)年度公募以降改称】	7月上旬	基金	振	
国際共同研究強化（B） Fostering Joint International Research (B)	複数の日本側研究者と海外の研究機関に所属する研究者との国際共同研究。学術研究の発展とともに、国際共同研究の基盤の構築や更なる強化、国際的に活躍できる研究者の養成も目指す（3～6年間 2,000万円以下）	4月上旬		振	
帰国発展研究 Home-Returning Researcher Development Research	海外の日本人研究者の帰国後に予定される研究（3年以内 5,000万円以下）	7月上旬		振	

(注1) 博士の学位を取得見込みの者及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後8年未満となる者を含む。

(注2) 役割分担欄の「文」は文部科学省が、「振」は日本学術振興会が担当することを示す。